



JASDAQ

2018年5月18日

各位

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社
代表者 代表取締役社長 吉丸 弘二郎
(コード：3316)
問合せ先 取締役経営管理本部長 赤木 正人
(TEL 03-3280-2711)

新中期経営計画の策定について

(2019年3月期～2021年3月期)

当社は、2016年5月に発表いたしました3か年の中期経営計画につきまして、2年目にあたる2017年度(2018年3月期)において営業利益率5%に到達したことにより、一年前倒して中期経営計画の目標を達成いたしました。

これを受け、持続的な成長を目指すために2018年度を初年度とする第三期中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の事業環境と新中期経営計画の狙い

当社は、サーバー等の第二世代プラットフォームであるハードウェア市場の低価格化や顧客のIT利用環境の変化が鮮明となる中、顧客ニーズに対応する体制作りと第三世代プラットフォームビジネスの発展により、安定的な顧客基盤を築いてまいりました。

一方、AIやIoTなどのIT技術革新は加速度的に発展し、企業を取り巻くIT環境が激変するとともに、新たなビジネスチャンスが創出されております。そのような状況下で、顧客ニーズはますます多様化し、そのニーズに対応しなければ今後のビジネスが継続する保証はないと認識しております。

当社はこのようなダイナミックな事業環境に向き合い、マネージドサービスカンパニーとして顧客の持続的成長を支援するベストパートナーを目指してまいります。

2. 基本方針

当社は、企業理念である「お客様に最大のご満足を」を実現するため、当社の企業ビジョンのもと、4つの行動指針を掲げ、全社一丸となってその実現に取り組んでおります。

企業ビジョン : 「最も安心してITインフラを任せられる企業」

行動指針 : ①お客様の理解に努めます
②最適なIT資源を提供します
③最新の技術経験を提供します
④最新の製品をお届けします

3. 基本戦略

「マネージドサービスカンパニーとしての認知度向上」、「ロイヤリティの高い顧客関係の構築」、「顧客ニーズにマッチしたマネージドサービスの提供」を基本戦略とし、取引規模の拡大による持続的成長を実現してまいります。

(1) マネージドサービスカンパニーとしての認知度向上

顧客にとって価値の高いマネージドサービスを前面に出した提案活動、広報活動を展開していくことで、マネージドサービスの認知度を向上させ、マーケットを拡大してまいります。

(2) ロイヤリティの高い顧客関係の構築

営業品質を向上させることで顧客との関係強化を進め、真の顧客ニーズをつかんでまいります。

(3) 顧客ニーズにマッチしたマネージドサービスの提供

業種・業界・ビジネスに対する理解をもとに、顧客課題の解決に向けた最適なマネージドサービスを提供してまいります。

4. 数値目標

2021年3月期の業績数値として、売上高100億円、営業利益6億円を目標といたします。

以 上

【本資料に対する注意事項】

本資料に記載されている内容は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した種々の前提および仮定に基づいたものであり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれております。

したがって、今後の事業環境の変化等様々な不確定要因により、実際の業績は計画数値と異なる可能性があります。